

児童青年期精神医学

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	2 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	3 人	

2 教員の異動状況

杉山 登志郎（特任教授）（H22.10.1～H28.3.31）

吉川 久史（特任助教）（H26.4.1～現職）

丸山 洋子（特任助教）（H26.4.1～H27.9.30）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	6 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	5.77	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	6 編	(6 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	4 編	(4 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Liu X, Kawashima M, Miyagawa T, Otowa T, Latt KZ, Thiri M, Nishida H, Sugiyama T, Tsurusaki Y, Matsumoto N, Mabuchi A, Kato N, Tokunaga K, Sasaki T. Erratum: Novel rare variations of the oxytocin receptor (OXTR) gene in autism spectrum disorder individuals. *Hum Genome Var.* 2016 Jan 14;3:15046. doi: 10.1038/hgv.2015.46. eCollection 2016. [IF 0]
2. Inoue E, Watanabe Y, Xing J, Kushima I, Egawa J, Okuda S, Hoya S, Okada T, Uno Y, Ishizuka K, Sugimoto A, Igeta H, Nunokawa A, Sugiyama T, Ozaki N, Someya T. Resequencing and Association Analysis of CLN8 with Autism Spectrum Disorder in a Japanese Population. *PLoS One.* 2015 Dec 14;10(12):e0144624. doi: 10.1371/journal.pone.0144624. eCollection 2015. [IF 2.885]
3. Liu X, Shimada T, Otowa T, Wu YY, Kawamura Y, Tochigi M, Iwata Y, Umekage T, Toyota T, Maekawa M, Iwayama Y, Suzuki K, Kakiuchi C, Kuwabara H, Kano Y, Nishida H, Sugiyama T, Kato N, Chen CH, Mori N, Yamada K, Yoshikawa T, Kasai K, Tokunaga K, Sasaki T, Gau SS. Genome-wide Association Study of Autism Spectrum Disorder in the East Asian Populations. *Autism Res.* 2016 Mar;9(3):340-9. doi: 10.1002/aur.1536. Epub 2015 Aug 28. [IF 0]
4. Egawa J, Watanabe Y, Sugimoto A, Nunokawa A, Shibuya M, Igeta H, Inoue E, Hoya S, Orime N, Hayashi T, Sugiyama T, Someya T. Whole-exome sequencing in a family with a monozygotic twin pair concordant for autism spectrum disorder and a follow-up study. *Psychiatry Res.* 2015 Sep 30;229(1-2):599-601. doi: 10.1016/j.psychres.2015.07.018. Epub 2015 Jul 10. [IF 0]
5. Egawa J, Watanabe Y, Wang C, Inoue E, Sugimoto A, Sugiyama T, Igeta H, Nunokawa A, Shibuya M, Kushima I, Orime N, Hayashi T, Okada T, Uno Y, Ozaki N, Someya T. Novel rare missense variations and risk of autism spectrum disorder: whole-exome sequencing in two families with affected siblings and a two-stage follow-up study in a Japanese population. *PLoS One.* 2015 Mar 25;10(3):e0119413. doi: 10.1371/journal.pone.0119413. eCollection 2015. PMID: 25806950 Free PMC Article [IF 2.885]
6. Liu X, Kawashima M, Miyagawa T, Otowa T, Latt KZ, Thiri M, Nishida H, Sugiyama T, Tsurusaki Y, Matsumoto N, Mabuchi A, Tokunaga K, Sasaki T. Novel rare variations of the oxytocin receptor (OXTR) gene in autism spectrum disorder individuals. *Hum Genome Var.* 2015 Jul 30;2:15024. doi: 10.1038/hgv.2015.24. eCollection 2015. [IF 0]

インパクトファクターの小計

[5.77]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 杉山登志郎：【社会的養護の子どもたち】社会的養護の子どもに認められる子ども虐待の後遺症，チャイルドヘルス，19巻2号，93-95，2016
2. 杉山登志郎：発達障害と子ども虐待との複合症例に対する EMDR を用いた簡易精神療法の試み，児童青年精神医学とその近接領域，56巻4号，489-494，2015
3. 杉山登志郎：薬物療法 少量処方のすすめ，児童青年精神医学とその近接領域，56巻3号，299-306，2015
4. 杉山登志郎：【摂食障害とそだち】摂食障害とそだち 幼児期の食行動異常，そだちの科学，25号，57-60,2015
5. 杉山登志郎：「発達」からみたこころの臨床 発達精神病理学の力 予防のための科学，こころの科学，181号，14-20，2015

インパクトファクターの小計 [0]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの
1. 谷伊織，伊藤大幸，平島太郎，岩永竜一郎，萩原拓，行廣隆次，内山登紀夫，小笠原恵，黒田美保，稲田尚子，原幸一，井上雅彦，村上隆，染木史緒，中村和彦，杉山登志郎，内田裕之，市川宏伸，辻井正次：研究と報告 日本版短縮感覚プロフィールの標準化 標準値および信頼性・妥当性の検討，精神医学，57巻6号，419-429，2015

インパクトファクターの小計 [0]

（4）著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 杉山登志郎：発達障害の薬物療法-ASD・ADHD・複雑性 PTSD への少量処方，岩崎学術出版社，東京都，2015
 2. 吉川久史：こころの発達とトラウマ・トラウマ処理，こころの科学，第181巻，65-70，2015，【臨床心理学】
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
1. 森則夫，杉山登志郎，和久田智靖：浜松医大流エビデンスに基づく精神療法実践集，金芳堂，京都府，2015

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 市井雅哉, 吉川久史: EMDR の基礎知識, こどもケア, 第 10 卷, 2015, 【臨床心理学】

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 27 年度
(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)	3 件 (180 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0 件 (0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(6) 財団助成金	0 件 (0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	0 件 (0 万円)
(8) 奨学寄附金	0 件 (0 万円)

- (1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)

杉山登志郎 (代表者) : 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (基盤研究C), 自閉症スペクトラムにおける軸索走行異常とミクログリア活性化, 平成26年度~平成28年度, 180万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	4 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	6 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

- (1) 国際学会等開催・参加

- (2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名

- 2) 学会における特別講演・招待講演

1. 杉山登志郎: 発達障害診療のコツ, 第 57 回日本小児神経学会学術集会, 平成 27 年 5 月, 大阪府
2. 杉山登志郎: 自閉症の発達精神病理学, 日本自閉症スペクトラム学会第 14 回研究大会, 平成 27 年 8 月, 北海道
3. 杉山登志郎: 子ども虐待と発達障害, 平成 27 年度大府市児童虐待防止シンポジウム, 平成 27 年 10 月, 大府市

4. 吉川久史：PTSD に対する第一選択である心理療法の比較—TFCBT と EMDR—，日本認知・行動療法学会第 41 回大会，平成 27 年 10 月，仙台

3) シンポジウム発表

4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

杉山登志郎：日本小児精神神経学会 常務理事

杉山登志郎：日本乳児医学・心理学会 理事

杉山登志郎：日本発達障害学会 理事

杉山登志郎：日本トラウマティック・ストレス学会 理事

杉山登志郎：日本子どもの虐待防止学会 代議員

吉川久史：日本 EMDR 学会 理事

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道